

2012 年 5 月 23 日
トピー工業株式会社

トピー工業グループ新中期連結経営計画”Growth & Change 2015”(G&C 2015)について ーグローバルでの”成長”と高収益体質への”変革”ー

トピー工業グループは、このほど 2012 年度から 2015 年度を実行期間とする中期連結経営計画”Growth & Change 2015”(G&C 2015)を策定し、スタートさせましたので、お知らせいたします。

1. 前中期連結経営計画”MS-2007”の総括

トピー工業グループは、2007 年度から 2009 年度を目標とした中期連結経営計画”MS-2007”に取り組んでまいりました。”MS-2007”では、「新たな成長分野への一貫生産能力の増強」、「新製品・新生産方式の開発」、「連結経営の新たなステージへの発展」、「財務体質の強化」、「新たな利益配分方針」、「長期計画に基づいた施策の継続」の 6 つを主要施策に、さらなる躍進に邁進してまいりました。しかしながら、実行中に世界経済が急激に悪化し、需要環境が大幅に冷え込む中、トピー工業グループも深刻な影響を受け、計画の見直しを余儀なくされました。このような状況下、トピー工業グループでは、収益への影響を最小限に抑えるための緊急諸施策を推進し、さらに、一層の固定費の削減や最適生産体制の再構築等によるコスト改革にグループ各社の事業基盤強化策を加えた経営改善計画を実行いたしました。なお、”MS-2007”における戦略的投資については重要案件に絞って実施いたしております。

【主な実施済み施策】

＜鉄鋼事業＞

- ・ 異形形鋼の生産能力増強 (2008 年 6 月)

＜自動車・産業機械部品事業：ホイール＞

- ・ 鉾山向け超大型ダンプトラック用ホイールの生産能力増強 (2009 年 10 月)
- ・ 超ハイテン材を採用した軽量化スチールホイールの開発 (2009 年 11 月)
- ・ 軽量化 ISO 方式トラック・バス用ホイールの量産開始 (2010 年 3 月)
- ・ 中国乗用車用ホイール生産拠点の完全子会社化 (2010 年 6 月)

＜自動車・産業機械部品事業：履板・履帯＞

- ・ リンク加工・熱処理ラインの増設 (2007 年 11 月)
- ・ 履板熱処理ラインの増設 (2008 年 6 月)
- ・ 中国履帯生産拠点の能力増強 (2011 年 1 月)

2. 新中期連結経営計画”Growth & Change 2015”(G&C 2015)について

1) 基本方針

現在のトピー工業グループを取り巻く事業環境は、新興国を中心として海外需要が拡大する一方、国内は人口の減少による総需要の停滞や高齢化による労働力の減少など、長期的には厳しい環境となることが見込まれます。

新中期連結経営計画”Growth & Change 2015”(G&C 2015)は、グローバルでの”成長”と高収益体質への”変革”を基本方針として、新興国需要の拡大と国内経済の成熟化へ対応する事業基盤の強化により、さらなる成長へつなげるものです。独創性にあふれるトピー工業グループ製品の強みを活かし、成長が見込まれる海外市場に対して積極的に事業展開を図るとともに、国内のモノづくり基盤を強固なものとすることで、環境変化に強い事業構造を確立し

てまいります。

2) 数値目標指標と計数計画

(1) 数値目標

	2011 年度実績	2015 年度目標	増 減
売上高営業利益率	4.4%	6.4%	+2.0%
自己資本利益率 (ROE)	4.8%	9.6%	+4.8%
総資産利益率 (ROA)	5.3%	7.3%	+2.0%
D/E レシオ	0.71	0.66	△0.05

(2) 計数計画

	2011 年度実績	2015 年度目標	増 減
売上高	2,405 億円	2,815 億円	+410 億円
(海外売上高比率)	21%	25%	+4%
営業利益	106 億円	180 億円	+74 億円
当期純利益	39 億円	100 億円	+61 億円

投資は、4 年間で約 670 億円を計画しております。そのうち、製鋼設備の新鋭化には約 280 億円、海外投資は約 180 億円を予定しております。

3) 重点テーマ

(1) 海外事業の拡充 (量的成長)

現在、新興国では、インフラ整備を精力的に進めており、それに伴い建設機械および自動車需要が拡大しています。トピー工業グループの主要な事業分野である自動車・産業機械部品事業では、世界的にも高いシェアを有している建機用足回り部品の履帯や鉱山向け超大型ダンプトラック用ホイール、自動車用ホイールを製造しています。”G&C 2015”では、これらの製品のグローバルでの需要に対し、シェアの維持・拡大とコスト競争力を持った供給体制を強化してまいります。

- ・ トピー履帯 (中国) 有限公司の稼働開始 (2012 年 10 月)
- ・ 天津トピー機械有限公司の稼働開始 (2012 年 10 月)
- ・ トピーファスナー・ベトナム・カンパニー・リミテッドの稼働開始 (2012 年 11 月)
- ・ 海外提携先との連携強化
- ・ 主要顧客の海外展開に伴うグローバル供給体制の強化

(2) 国内事業基盤の強化 (質的変革)

国内需要は停滞が見込まれますが、トピー工業グループが長年にわたり培ってきた製品設計・生産技術を活かして、国内市場における競争力を一層強化してまいります。製鋼設備の新鋭化による製造コストの抜本的改善をはじめ、生産性の向上 (「つくりの変革」)、原価低減活動の深化に取り組んでまいります。また、トピー工業グループならではの戦略製品・高付加価値製品の開発と拡販に努めてまいります。

- ・ 豊橋製造所 新製鋼設備の稼働開始 (2015 年 4 月)
- ・ 異形形鋼、鉱山向け超大型ホイール、超軽量ホイール、高付加価値ファスナー、合成マイカ、ロボットなどの拡販

(3) 経営の高度化

業務プロセスの改革とグローバルでのグループ経営の高度化を推進いたします。また、

新製品・新製法などグローバルで戦える技術力の強化とリスクマネジメントシステムの深化にも取り組みます。

4) セグメント別施策

(1) 鉄鋼事業

製鋼設備の新鋭化により、圧倒的に低い電力原単位の実現や生産性・品質の向上、環境コストの低減を図るとともに、鉄源を完全自給化し、コスト競争力を強化いたします。また、原料調達から製品納入までの一貫生産コストを低減すべく、グループ一体となった効率化を進め、収益の向上を図ってまいります。

国内トップレベルのコスト競争力を備え、独自性のある異形形鋼を武器に業界のリーディングカンパニーを目指します。

(2) 自動車・産業機械部品事業

海外需要の拡大に応え、生産拠点の現地化と生産能力の増強、海外提携先との連携強化に取り組み、販売を拡大してまいります。また、顧客ニーズに対応した商品展開と高生産性ラインを構築し、事業基盤を強化してまいります。

国内事業の収益確保と海外事業展開を推進して事業収益構造を転換し、世界トップクラスの総合ホイールメーカーおよび履板・履帯のリーディングカンパニーとしての地位を強化いたします。

(3) その他

科学、エネルギー、サービスと多岐にわたる事業展開の中で、顧客ニーズを捉えた商品開発による拡販に取り組んでまいります。

以 上